

事業名	校務の情報化推進事業【教育研究所】				
概要	子どもと向き合う時間を確保するために、成績管理などの事務処理を効率化したり、電子データを共有化したりするなど、校務の情報化を推進します。				
行動計画	項目	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)	32年度 (2020年度)	33年度 (2021年度)
	校務支援システム ^(注70)	実施	⇒	⇒	⇒

事業名	給食費の公会計化【学校給食担当】				
概要	子どもと向き合う時間を確保するために、給食費の管理を、各学校で行う私会計制度から市(教育委員会)で行う公会計制度に変更し、教職員の事務的な業務負担を軽減します。				
行動計画	項目	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)	32年度 (2020年度)	33年度 (2021年度)
	給食費の公会計化	実施	⇒	⇒	⇒

事業名	学校法律相談事業【支援教育課】				
概要	複雑な法律問題への対処方法について、校長および幼稚園長が弁護士から指導・助言を得ることで、問題の早期解決を図り、教職員が子どもと向き合うための本来の業務に専念できるようにします。				
行動計画	項目	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)	32年度 (2020年度)	33年度 (2021年度)
	担当弁護士 ^(注61) との学校法律相談 (再掲)	実施	⇒	⇒	⇒

【関連する他の事業】

[学校教育編] 中学校部活動指導者派遣事業(文化関係)【教育指導課】(35ページ参照)

[学校教育編] 高等学校文化部育成事業【教育指導課】(35ページ参照)

[学校教育編] 中学校部活動指導者派遣事業(体育関係)【保健体育課】(49ページ参照)

[社会教育編] 学校教育サポーター、生涯学習センターのコーディネート機能の活用

【生涯学習課】(89ページ参照)

目標4 学校・家庭・地域の連携を深めます

学校・家庭・地域が一体となって子どもを育てていくため、地域の人々の教育力と地域にある学習環境の活用を推進します。

このような家庭・地域との連携を推進するために、学校が教育方針や特色ある教育活動、子どもの様子などを家庭・地域に知らせ、理解や協力を求めるなど、開かれた学校づくりの充実を図ります。

施策（16）開かれた学校づくりの充実

保護者や地域住民などが子どもの様子や学校教育活動の状況について知り、学校への理解を深めることができるように、授業参観の実施など積極的に学校を公開します。また、「学校評価」を活用して、保護者・地域住民などとの連携・協力による学校づくりを充実させます。

【関連事業】

事業名	「学校へ行こう週間」の実施【教育指導課】				
概要	全ての市立学校が学校公開期間（学校へ行こう週間）を設け、保護者や地域住民に学校の様子を身近に感じてもらい、学校に対する理解と支援を一層深めることを目指します。				
行動計画	項目	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)	32年度 (2020年度)	33年度 (2021年度)
	学校へ行こう週間	実施	⇒	⇒	⇒

事業名	「輝け！よこすかの子どもたち(市民向け広報紙)」の発行【教育政策課】				
概要	学校の取り組みや学校での子どもたちの様子、教育委員会の取り組みなどを広報紙「輝け！よこすかの子どもたち」を通して、市民に向けて発信します。				
行動計画	項目	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)	32年度 (2020年度)	33年度 (2021年度)
	輝け！よこすかの子どもたち	発行	⇒	⇒	⇒
	アンケート調査	—	実施	—	—

【関連する他の事業】

【学校教育編】学校評価推進事業【教育指導課】【教育政策課】（52 ページ参照）

施策 (17) 家庭との連携による望ましい生活・学習・運動習慣の確立 -----

学校と家庭が連携を図り、望ましい生活習慣や家庭での学習習慣の確立を目指すとともに、健康・体力づくりへの意識を高め、望ましい運動習慣を確立することを目指します。

[関連事業]

事業名	家庭との連携による生活習慣、学習習慣、運動習慣の確立 【教育指導課】【支援教育課】【教育政策課】【保健体育課】				
概要	児童生徒の保護者に、啓発のためのリーフレットを配布するなど、児童生徒の望ましい生活習慣、学習習慣、運動習慣の確立を目指します。				
行動計画	項目	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)	32年度 (2020年度)	33年度 (2021年度)
	子どもの生活状況の把握と分析 (全国および市の質問紙調査)	実施	⇒	⇒	⇒
	家庭学習啓発リーフレット(再掲)	配布	⇒	⇒	⇒
	横須賀子どもスタンダード ^(注.10)	配布	⇒	⇒	⇒
	よこすかケータイ・スマホ スタンダード	配布	⇒	⇒	⇒
	教育フォーラム	開催	⇒	⇒	⇒
	児童生徒健康・体力向上推進委員 会生活習慣改善部会による啓発資 料の作成(再掲)	実施	⇒	⇒	⇒
	児童生徒健康・体力向上推進委員 会食育推進担当部会による啓発資 料の作成(再掲)	実施	⇒	⇒	⇒
	保健だより、給食だよりなどを通 じた意識啓発(再掲)	実施	⇒	⇒	⇒

施策（18）地域教育力の活用の充実 -----

学校・家庭・地域の連携を一層深め、社会全体で子どもを育てていくために、地域住民や学生ボランティアなどの人材を活用できる体制を充実させます。

[関連事業]

事業名	学校いきいき事業【教育指導課】				
概要	学校と保護者・地域との連携や校種 ^(注39) 間の連携を一層図ることにより、地域で子どもを育てていく体制を構築することを目指します。				
行動計画	項目	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)	32年度 (2020年度)	33年度 (2021年度)
	学校教育支援ボランティア ^(注11) の活用の支援	実施	⇒	⇒	⇒
	地域の教育力の活用の支援	実施	⇒	⇒	⇒
	校種間連携の取り組み	実施	⇒	⇒	⇒
	学校評議員 ^(注12) の活用の支援	実施	⇒	⇒	⇒

事業名	地域協働事業【教育指導課】				
概要	コミュニティセンター ^(注71) などを会場とし、児童生徒の自主的・自発的学習の機会を提供します。				
行動計画	項目	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)	32年度 (2020年度)	33年度 (2021年度)
	よこすか土曜寺子屋教室（再掲）	実施 検証・検討	実施	実施・検討	検討結果に基づく対応

施策（19）放課後等児童対策推進の支援 -----

児童が安心して過ごせる場として、放課後や休業日などの学校の活用を進めます。

[関連事業]

事業名	放課後等児童対策推進の支援【教育政策課】				
概要	児童が安心して過ごせる場として、放課後や休業日などの学校の活用を関係部局と連携して進めます。				
行動計画	項目	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)	32年度 (2020年度)	33年度 (2021年度)
	放課後児童クラブの小学校移転の支援	実施	⇒	⇒	⇒
	放課後全児童対策の小学校実施の支援	実施	⇒	⇒	⇒

目標5 教育環境を整備し、充実させます

教育の質の向上を図るとともに、子どもが安全で安心した学校生活を送ることができるように、学校の教育環境を計画的に整備し、充実させます。また、就学支援の充実を図り、教育の機会均等を確保します。

施策（20）学校の安全・安心の推進

子どもが安全で安心した学校生活を送ることができるように、施設の整備や通学路の交通安全確保を進めます。また、病気やけがなどの応急手当ができる体制づくりを推進します。

[関連事業]

事業名	学校の施設整備・維持管理【学校管理課】				
概要	安全な教育環境を確保することや老朽化対策に必要な営繕工事を行うとともに、避難所として使用される学校施設の安全対策として、非構造部材の耐震化を進めます。 また、学校施設を適正かつ良好な状態に維持するために、各種設備の保守点検や清掃業務などを行います。				
行動計画	項目	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)	32年度 (2020年度)	33年度 (2021年度)
	施設整備業務	実施	⇒	⇒	⇒
	維持管理業務	実施	⇒	⇒	⇒

事業名	学校事故等緊急時の体制づくり【保健体育課】				
概要	学校管理下における不慮の事故などへの初期対応を適切に行うため、教職員を対象とした応急手当普及員 ^(注65) 講習会や心肺蘇生法実技研修講座、アナフィラキシー ^(注72) 対応研修を実施します。また、市立学校などに配備しているAED（自動体外式除細動器）を適切に管理します。				
行動計画	項目	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)	32年度 (2020年度)	33年度 (2021年度)
	応急手当普及員講習会・再講習会 (再掲)	開催	⇒	⇒	⇒
	心肺蘇生法実技研修講座・再講習会 (再掲)	開催	⇒	⇒	⇒
	アナフィラキシー対応研修	開催	⇒	⇒	⇒
	心肺蘇生法実技練習用人形および AED練習器の更新、貸出	貸出	⇒	⇒	更新・貸出
AEDの更新、管理	管理	⇒	⇒	更新・管理	

事業名	通学路の交通安全確保【教育指導課】				
概要	関係機関との連携や協力を図り、通学路の交通安全の確保に取り組みます。				
行動計画	項目	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)	32年度 (2020年度)	33年度 (2021年度)
	通学路合同点検	実施	⇒	⇒	⇒

施策（21）学校施設・設備の充実

学習活動を充実させ、子どもが快適に学校生活を送ることができるように、施設環境の向上を図ります。

[関連事業]

事業名	学校トイレ改修事業【学校管理課】				
概要	児童生徒が快適に利用できるように、臭いや汚れの解消、また明るさに配慮した改修工事を進めます。				
行動計画	項目	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)	32年度 (2020年度)	33年度 (2021年度)
	学校トイレ改修	実施	⇒	⇒	⇒

施策（22）学校の適正規模・適正配置の推進

学校の規模（学級数）による学習面、生活面、学校運営面などを考慮し、より高い教育効果が得られる規模を「適正規模^(注73)」として、適正配置も考慮しながら進めます。

[関連事業]

事業名	小中学校適正規模・適正配置推進事業【教育政策課】				
概要	検討地域や検討時期を定めた「実施計画」を策定後、該当地域の保護者、関係団体の代表者、学校関係者などと適正規模・適正配置についての方策を検討します。 該当地域においてまとめた意見書に基づき、適正規模・適正配置を進めます。				
行動計画	項目	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)	32年度 (2020年度)	33年度 (2021年度)
	該当地域における検討	—	実施	⇒	⇒
	適正規模・適正配置の推進	—	—	実施	⇒

施策（23）就学支援などの充実 -----

経済的な理由により就学が困難な家庭に対して、就学支援に関する制度の周知を図り、適切な支援を行うことで、教育の機会均等を確保します。

[関連事業]

事業名	就学奨励扶助事業【支援教育課】【学校給食担当】【保健体育課】				
概要	<p>経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者に、学用品費、修学旅行費、学校給食費などの就学援助費を支給するとともに、医療費などを援助します。</p> <p>また、支援が必要な児童生徒に対して、必要な時期に適切な支援ができるよう、より効果的な制度の運用について検討を行います。</p>				
行動計画	項目	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)	32年度 (2020年度)	33年度 (2021年度)
	就学援助費の支給・援助	実施	⇒	⇒	⇒

事業名	奨学金支給事業【支援教育課】				
概要	<p>経済的理由により就学が困難な本市在住高校生に奨学金を支給します。また、奨学生の実態把握に努め、より効果的な制度の運用について検討を行います。</p>				
行動計画	項目	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)	32年度 (2020年度)	33年度 (2021年度)
	奨学金の支給	実施	⇒	⇒	⇒

目標指標(学校教育編)

学校教育編の各目標の達成状況を測り、施策・事業を展開する上で参考とする指標について、掲載しています。

※各指標における目標値は、平成33年度(2021年度)末の数値となります。

指標名	教科指導内容の定着状況	関連目標	目標1:子どもの学びを豊かにします
		関連施策	施策(1):教育活動の充実
概要	全国学力・学習状況調査 ^(注35) の国語A・Bと算数/数学A・Bにおいて、全国平均正答率を基準とした横須賀市の平均正答率の割合(指数)を算出し、前年度と比較することで、教科の指導内容の定着状況を測ります。(小学校6年生、中学校3年生)		
基準値	<p>【小学校 6年生】</p> <p>国語A 指数 93.6 国語B 指数 90.4 算数A 指数 94.1 算数B 指数 89.3</p> <p>【中学校 3年生】</p> <p>国語A 指数 98.2 国語B 指数 97.0 数学A 指数 96.0 数学B 指数 97.7 (平成29年度)</p> <p>指数…全国を100としたときの本市の数値</p>	目標値	<p>【小学校 6年生】</p> <p>国語A 指数 100 国語B 指数 100 算数A 指数 100 算数B 指数 100</p> <p>【中学校 3年生】</p> <p>国語A 指数 100 国語B 指数 100 数学A 指数 100 数学B 指数 100</p> <p>*定着状況ということから、全国の平均正答率を目標値として設定した。</p>

指標名	同じ学習集団における学習状況	関連目標	目標1:子どもの学びを豊かにします
		関連施策	施策(1):教育活動の充実
概要	横須賀市学習状況調査 ^(注54) の国語と算数・数学において、調査全体の平均正答率を基準とした横須賀市の平均正答率の割合(指数)を算出し、同じ学習集団の前年度の指数と比較することにより、学習状況の改善状況を測ります。		
基準値	<p>【小学校 3年生】(4年後中学校1年生)</p> <p>・国語 指数 93.5 ・算数 指数 92.7</p> <p>【小学校 4年生】(4年後中学校2年生)</p> <p>・国語 指数 93.3 ・算数 指数 95.8</p> <p>【小学校 5年生】(4年後中学校3年生)</p> <p>・国語 指数 93.9 ・算数 指数 92.0 (平成29年度)</p> <p>指数…調査全体を100としたときの本市の数値</p>	目標値	<p>4年後の同じ学習集団</p> <p>【中学校 1年生】</p> <p>・国語 指数 100.3 ・数学 指数 95.9</p> <p>【中学校 2年生】</p> <p>・国語 指数 100.1 ・数学 指数 99.0</p> <p>【中学校 3年生】</p> <p>・国語 指数 100.6 ・数学 指数 95.2</p> <p>*平成25年度小学校5年生から、平成29年度中学校3年生までの同じ学習集団における4年間の子どもの改善した状況を表す指数の変化(国語…6.8、算数・数学…3.2)を基準とし、平成33年度(2021年度)の目標値を設定した。</p>

指標名	学力の分布	関連目標	目標1:子どもの学びを豊かにします
		関連施策	施策(1):教育活動の充実
概要	横須賀市学習状況調査(注54)の国語と算数・数学において、正答率におけるA層(40%未満:A層、40%以上80%未満:B層、80%以上:C層)の児童生徒の割合について、同じ学習集団の前年度のA層の割合と比較することにより、学習状況の改善状況を測ります。(小学校5年生、中学校2年生)		
基準値	<p>《A層》</p> <p>【小学校 5年生】</p> <p>・国語 8.4% ・算数 10.6%</p> <p>【中学校 2年生】</p> <p>・国語 7.1% ・数学 23.1%</p> <p>(平成28~29年度)</p>	目標値	<p>《A層》</p> <p>【小学校 5年生】</p> <p>・国語 2.2% ・算数 2.4%</p> <p>【中学校 2年生】</p> <p>・国語 1.8% ・数学 18.3%</p> <p>*平成26~29年度の4年間のA層の割合が一番高かった年度と一番低かった年度を比較し、子どもたちの改善した状況を表す指数の変化を算出し、一番割合の低かった年度を基準として目標値を設定した。</p>

指標名	自己肯定感	関連目標	目標1:子どもの学びを豊かにします
		関連施策	施策(1):教育活動の充実
概要	児童生徒の学習意欲に相関のある(学力・体力・生活意識調査に関する専門的分析)「自己肯定感」について、横須賀市学習状況調査の質問調査における指標設問〔①自分の意見は自信をもって言えますか、②自分なりに努力したことがうまくいって、うれしかったことがありますか、③自分にはいいところがあると思いますか〕における肯定的な回答の割合について、同じ学習集団の前年度との比較からその状況を測ります。(小学校5年生、中学校2年生)		
基準値	<p>【小学校 5年生】</p> <p>・平成32年度(2020年度)小学校4年生の時の指標設問の肯定的な回答の割合</p> <p>【中学校 2年生】</p> <p>・平成32年度(2020年度)中学校1年生の時の指標設問の肯定的な回答の割合</p>	目標値	<p>【小学校 5年生】</p> <p>・前年度小学校4年生の時の肯定的な回答の割合を上回る</p> <p>【中学校 2年生】</p> <p>・前年度中学校1年生の時の肯定的な回答の割合を上回る</p> <p>*指標対象学年の前年度の指標設問の肯定的な回答の割合を基準とし、その基準を上回ることを目標とした。</p>

指標名	学習集団・学級集団の状況	関連目標	目標1:子どもの学びを豊かにします
		関連施策	施策(1):教育活動の充実
概要	児童生徒の学習意欲に関連のある(学力・体力・生活意識調査に関する専門的分析)「学級活動(学習集団の状況)」について、横須賀市学習状況調査 ^(注54) の質問調査における指標設問〔①学級はみんなで決めた学級のめあてを守っていますか、②学級会では意見を出しやすいですか、③学級の人たちは協力的で助け合っていると思いますか〕における肯定的な回答の割合について、同じ学習集団の前年度との比較からその状況を測ります。(小学校5年生、中学校2年生)		
基準値	【小学校 5年生】 ・平成32年度(2020年度)小学校4年生の時の指標設問の肯定的な回答の割合 【中学校 2年生】 ・平成32年度(2020年度)中学校1年生の時の指標設問の肯定的な回答の割合	目標値	【小学校 5年生】 ・前年度小学校4年生の時の肯定的な回答の割合を上回る 【中学校 2年生】 ・前年度中学校1年生の時の肯定的な回答の割合を上回る * 指標対象学年の前年度の指標設問の肯定的な回答の割合を基準とし、その基準を上回ることを目標とした。

指標名	1カ月に1冊以上本を読む児童生徒の割合	関連目標	目標1:子どもの学びを豊かにします
		関連施策	施策(1):教育活動の充実
概要	市立小中学校児童生徒の1カ月に本を1冊以上読む割合から、子どもの読書活動が効果的に推進されているかを測ります。		
基準値	小学校 88.9% 中学校 58.1% (平成28年度)	目標値	小学校 96.0% * 学校読書調査の全国平均値を目標値として設定した。 中学校 72.0% * 平成29年度末の目標値を継続した。

指標名	本を読むのが「好き、どちらかといえば好き」な児童生徒の割合	関連目標	目標1:子どもの学びを豊かにします
		関連施策	施策(1):教育活動の充実
概要	市立小中学校の児童生徒の「本を読むのが好きか」についての肯定的な回答の割合から、子どもの読書活動が効果的に推進されているかを測ります。		
基準値	小学校 80.4% 中学校 68.8% (平成28年度 中央図書館による調査)	目標値	小学校 86.4% 中学校 74.8% * 平成24～28年度の平均値と基準値の差を継続加算し、目標値を設定した。